



小国中学校大運動会開催 雨を吹き飛ばす熱戦を繰り広げる

小国中学校大運動会が、5月29日に町民総合体育館で行われました。

当日は、降雨によりグラウンドの状況が悪化したことから屋内での開催となりましたが、赤と青それぞれのチームに分かれ、優勝を目指して競技や応援合戦で競いました。

特に、各学年で行われた団体種目では、同じ学年・組で協力し、声をかけあったりアイコンタクトをとったりしながら、勝利に向け全力で競技に取り組んでいる様子がみられました。



▲1年生団体種目の様子

小国町消防演習・消防庁長官表彰 長年の消防活動への感謝が伝えられる

6月7日、小国町消防演習が行われ、昨年に全国女性消防操法大会に出場し見事優良賞を受賞した小国町女性消防団による放水訓練や総合センターを出火建物と想定した火災防ぎょ訓練が行われました。

また、各表彰の伝達では、消防庁長官表彰として長年の功労が認められ、第2分団部長の毛利一博さん（岩井沢）と第4分団部長の伊藤一彦さん（西）が永年勤続功労章を受章されました。



第2分団部長 毛利一博氏（永年勤続功労章・左から3人目）
第4分団部長 伊藤一彦氏（永年勤続功労章・左から2人目）

小国小学校5年生白い森づくり体験事業 「白い森おぐに」を間近で体験

6月11日、「白い森づくり体験事業」の一環として、小国小学校の5年生39人が、町民の森での伐倒・玉切り作業見学と、しいたけの菌を原木へ打ち込む駒打ち体験を行いました。

駒打ち体験では、かなづちを上手に使いながら、真剣な表情でしいたけの菌を打ち込んでいる様子が見られました。児童からは「きのこは植物ではなく菌であることを初めて知りました。自分で菌を打ち込むことでより森づくりについて学ぶ事ができました。」と感想を話していました。

その後、置賜森林管理署のかたから森林の機能や役割についての講話が行われ、児童たちは森林の大切さをあらためて認識していました。



▲真剣な表情でしいたけの駒打ちを行う

小国高校 岩手県大槌町産品販売実習 復興への思いを形にして

6月15日に道の駅白い森おぐに、16日に白い森ショッピングセンターアスモ及び役場において、小国高校生による岩手県大槌町産品販売実習が行われました。

これは、本年4月に発生した山林火災により大きな被害を受けた大槌町の復興支援のために実施され、売上の1割が支援に充てられました。実習では産品のサーモンの缶詰や鹿肉を使った商品が販売され、生徒たちは、商品を紹介しながら、買い物に訪れたかたと交流していました。



▲道の駅白い森おぐにでの販売の様子

第1回育苗コンクール表彰式 生産者間で技術を競い高める

白い森おぐに『がっちり儲ける米づくり』運動第1回育苗コンクール表彰式が、6月16日に役場で開催されました。

このコンクールは、生産者が日頃培っている育苗技術に光を当て、互いに学び合い、さらなる技術向上につなげてほしいとの思いから、今年度初めて行われました。審査の結果、最優秀賞には舟山祥平さん（若山）が、優秀賞には佐藤義昭さん（舟渡）がそれぞれ選ばれ、小国町農作物生産振興協議会会長である仁科町長より賞状と賞品が手渡されました。



米坂線を応援しよう 「駅舎で乾杯」 夜の駅舎に賑わいが戻る

6月19日、駅舎で乾杯実行委員会が主催する、米坂線を応援しよう「駅舎で乾杯」が小国駅を会場として開催されました。

当日は、町内外から約70人が参加し、駅舎の雰囲気を楽しみながら会話や飲食を楽しんでいました。また、音楽ユニット「風とたんぽぽ」による歌唱パフォーマンスも行われ、大いに盛り上がりました。参加したかたからは「通学で米坂線を利用していました。久しぶりにホームを見て懐かしい気持ちで楽しむことができました。」とお話いただきました。

